

## 【第3号議案】

# 令和3年度事業報告の件

## 1. 管理運営活動

下記の通り理事会・評議員会を開催し、令和2年度事業報告及び会計報告、令和4年度事業計画・収支予算並びに理事・評議員の選任等事業運営全般について審議検討した。なお、新型コロナウイルス(COVID-19)感染症拡大防止のため、第38回理事会、第23回評議員会については書面決議による運営とした。

### 第38回理事会

令和3年5月28日(金) (書面決議)

### 第23回評議員会

令和3年6月18日(金) (書面決議)

### 第40回理事会

令和4年2月9日(水) 於:大阪新阪急ホテル

### 第25回評議員会

令和4年2月24日(木) 於:大阪新阪急ホテル

\* 他に第39回理事会として令和3年12月3日(金)に、第24回評議員会として令和3年12月24日(金)に、書面での決議を行っている。

## 2. 展示の実施

### (1) 展示内容

令和3年3月6日(土)～8月1日(日)まで、春季特別展「型絵染 三代澤本寿」を開催した。当初、令和3年3月6日(土)より7月13日(火)までの開催予定であったが、新型コロナウイルス(COVID-19)感染症拡大防止のため、令和3年4月25日(日)より6月20日(日)まで臨時休館とし、また、このことに対応して可能な範囲で会期の延長を図ったことによりこの日程での開催となった。

次に、令和3年9月4日(土)～12月14日(火)まで、秋季特別展として引き続き「型絵染 三代澤本寿」を開催した。秋季特別展では当初「筒描き・注染」を予定していたが、新型コロナウイルス(COVID-19)感染症拡大防止の観点から他府県在住の作品所有者との打合せ等を見合わせる事となり、その準備が困難となった。そのため春季特別展の展示作品を一部入れ替え、改めて秋季特別展として「型絵染 三代澤本寿」を継続開催することとした。

## (2) 記念講演会

春季特別展期間中、以下の記念講演会を予定していたが、新型コロナウイルス(COVID-19)感染症拡大防止のためいずれも中止とした。また秋季特別展ではイベント開催の状況が整わず企画を見送った。

### ○ 記念講演会

#### ① テーマ 「作家が担う民藝運動の時代へー万博の「日本民藝館」と濱田庄司ー」

日時：令和3年6月13日(日) 14:00～15:30

場所：国立民族学博物館・第5セミナー室

講師：濱田琢司氏（関西学院大学文学部教授）

#### ② テーマ 「食事(ケハレ)と民藝」

日時：令和3年7月4日(日) 14:00～15:30

場所：国立民族学博物館・第5セミナー室

講師：土井善晴氏（料理研究家）

## (3) 民んげいゼミ・ワークショップ等

予定していた民んげいゼミ・ワークショップ等のうち、以下の2企画を実施した。

### ○ はじめての「民藝」

#### ③ 「民藝運動とEXPO'70ー挑戦としてのパビリオン「日本民藝館」ー」

日時：令和3年3月28日(日) 14:00～15:30

場所：大阪日本民芸館・会議室

講師：小野絢子（大阪日本民芸館学芸員）

### ○ ワークショップ

#### ④ 染紙ワークショップ

日時：令和3年12月12日(日) 13:00～15:30

場所：大阪日本民芸館・会議室

講師：M.Motoju 会（代表：三代澤保水氏）

\* 4月25日(日)の予定を変更して開催。

以下については、新型コロナウイルス(COVID-19)感染症拡大防止のため中止とした。またこの他の民んげいゼミ・ワークショップ等についてはイベント開催の状況が整わず企画を見送った。

#### ○ みんなげいゼミ

##### ⑤ テーマ「三代澤本寿 民藝のまなざしと作品の魅力をたどる」

日時：令和3年5月23日(日) 14:00～15:30

場所：国立民族学博物館・第5セミナー室

講師：武藤美紀氏（松本市美術館学芸員）

#### (4) ギャラリートーク

学芸員によるギャラリートークについては、臨時休館期間中を除き月2回、合計14回実施した。

#### (5) 新型コロナウイルス(COVID-19)への対応

大阪府からの要請もあり、令和3年4月25日(日)より6月20日(日)まで臨時休館とした。

上記以外の期間は、新型コロナウイルス(COVID-19)感染症拡大防止のため所要の対策を行って開館している。主な取組は以下のとおり。

- ・従業員の毎日の検温・体調確認・マスクの着用
- ・受付カウンターへのスクリーン設置
- ・館内の定期的な換気・消毒の実施
- ・来館者への検温・手指消毒の依頼

### 3. 入館者及び入館料

臨時休館の実施、緊急事態宣言の長期化等により春季特別展、秋季特別展ともに入館者数は伸び悩み、令和3年度の有料入館者数は4,806人で、令和2年度(有料入館者数は5,506人)を700人下回った。

その結果、入館料(含・友の会会費収入)は、2,699千円と前年度(3,054千円)比(355千円の減少)となった。

### 4. 友の会活動

#### ○友の会連絡の発行

年4回、全会員に対し発行し、展示・イベント案内や各種情報提供を行っている。

#### ○他の美術館等への観覧研修

新型コロナウイルス(COVID-19)感染症拡大防止のため中止とした。

#### ○会員期間の延長

臨時休館の実施に伴い、休館期間に相当する会員期間の延長を行った。

## 5. みんなげい市

下記のとおり陶磁器・木作品の展示即売を予定していたが、新型コロナウイルス(COVID-19)感染症拡大防止のため中止とした。

日時 : 令和3年5月8日(土)、9日(日) 10:00~17:00

場所 : 大阪日本民芸館正面入口前

参加作家 : 関西圏で活躍されている作り手の方々約20名